



COOP SHIGA CSR REPORT 2021

コープしがCSRレポート2021

ともしつくる
笑顔
あふれる未来



COOP SHIGA CSR REPORT 2021

コープしがCSRレポート2021



CONTENTS

理事長メッセージ…………… 02

特集

コロナ禍における生協と地域と 人々とのつながりや広がり

～コープしがの2020～…………… 03-04

コープしがの事業紹介…………… 05-06

コープしがのCSR…………… 07-08

2020年度活動報告

「たべる」たいせつ…………… 09-10

「くらし」たいせつ…………… 11-12

「ちいき」たいせつ…………… 13-14

「いのち」たいせつ…………… 15-16

「びわこ」たいせつ…………… 17-18

コープしがの組織概要

事業における環境報告…………… 19-20

コープしがの概要…………… 21

コープしがのグループ会社…………… 22

編集方針

「コープしがCSRレポート」は、コープしがが果たすべき社会的責任（Corporate Social Responsibility:CSR）と社会課題解決のためにやっている取り組みを、幅広いステークホルダーの皆様にご理解いただくことを目的に発行しています。

2008年の発行から数えて14回目となる今回は、独自視点の「5つのたいせつ」に基づいた構成とし、コープしがの活動をより分かりやすくお伝えすることを心がけました。

コープしが理念「ともにつくる 笑顔あふれる未来」のもと、持続可能な社会の実現に向けてどのような取り組みを行っているのか。掲載は活動の一部ですが皆さまにご覧いただければ幸いです。

協同組合の使命と役割をさらに発揮し、 「ともにつくる 笑顔あふれる未来」へ

2020年は、これまで私たちが経験したことのない「新型コロナウイルス感染症」への不安を抱えた一年でした。この不安は解消される状況には至らずに、わたしたちのくらしはもとより社会や経済に大きな影響を及ぼしています。そのような中、コープしがは、消費生活協同組合としての使命を絶えず確認しながら、日々の事業と活動をさまざまな連帯ですすめてきました。

私たち生活協同組合コープしがの使命と役割を消費生活協同組合法では次のように規定しています。

「生活の安定と生活文化の向上を図るため、相互の助け合いにより自発的に組織する非営利の団体」、「一定の地域又は職域による人と人との結合した相互扶助の組織」であり、「組合員の生活の文化的経済的改善向上を図ることのみを目的」とする。「行う事業は、組合員への最大の奉仕を目的とし、営利を目的として行ってはならないこと」を原則としています。

特にこの一年は、この尊い価値のある協同組合の原則を自覚し、さらに原則に基づいて事業や活動や運営をすすめることに力を注ぎました。

生活協同組合コープしがの理念「ともにつくる 笑顔あふれる未来」に近づくように20万人の組合員のみなさんと役員、生産者・取引先の方々とともに努力を重ねてきた一年のありようを「コープしがCSRレポート」に納めました。

今後も、社会や経済は変化し、くらしも変わっていくことが想定できますが、消費生活協同組合の原則をたいせつに、組合員のくらしを守る砦として、県民のみなさまからも信頼される存在になれるよう「協同の力」を発揮していく所存です。

最後に、みなさまからの引き続きのご理解とお力添えをよろしくお願いいたします。

2021年6月
生活協同組合コープしが

理事長

白石一夫



特集

コロナ禍における生協と地域と人々とのつながりや広がり

～コープしがの2020～

新型コロナウイルスの感染拡大以降、多くの県民のみなさんからコープしかに期待が寄せられ、生協への加入が広がりました。あわせて、組合員が生協をしっかり利用することによって、生協経営が安定するという協同組合のサイクルが大きく回りました。その結果、生まれた剰余金は、組合員へ還元するとともに、社会貢献活動の支援にも活用することができました。

コープしがでは、フードドライブや利用を通して地元企業などの支援に組合員とともに取り組みました。また新型コロナウイルスの影響で厳しい経営状況にある大学生協から、事務用品の購入や職員の採用を行うなど、協同し支えあう取り組みをすすめました。

コロナ禍で困窮する家庭や医療従事者への寄付支援

10月に滋賀県社会福祉協議会「滋賀の子どものほほえむ力サポート事業」へ組合員募金とコープしがから寄付金を合わせて102万5,875円を寄付しました。生活困窮家庭への社会支援に役立てられます。

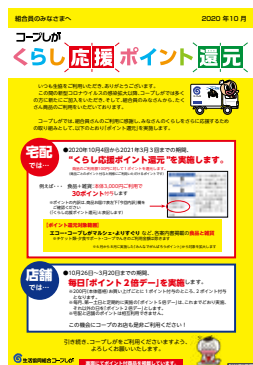
12月に滋賀県「がんばる医療応援寄附」へ100万円を寄付しました。医療従事者の勤務環境や医療体制の充実・強化に役立てられます。



くらし応援ポイント還元の実施

(10/4回～3/3回)

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、厳しい組合員のくらしを応援するため、宅配やお店、コープでんきの利用に対して、くらし応援ポイント還元を実施しました。



みんなでがんばろうサポート基金の創設

(3/1回～6/3回)

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、生活に困窮している方や医療従事者をサポートするための基金を創設しました。対象商品の利用点数に応じて、コープしがと生産者が1～2円を基金に積み立てる仕組みで、組合員は利用することで支援につながります。



シトラスリボンプロジェクトに賛同

新型コロナウイルス感染者やその家族、医療従事者などへの差別や偏見をなくして、人を思いやる、くらしやすい社会をみんなでつくるプロジェクトの趣旨に賛同し、組合員、総代、取引先、役職員などがシトラスリボンを着用し、賛同の輪を広げる呼びかけを行っています。



フードドライブの取り組み

「フードバンク滋賀」・「フードバンクびわ湖」と協定を締結し、10月からコープのお店に、1月から宅配センターにフードBOXを設置し、組合員から余剰食品の提供を受け、必要とする人に届ける「フードドライブ」の取り組みをはじめました。



県内の生産者を応援する取り組み

●県内福祉作業所応援企画の実施

新型コロナウイルスの影響によるイベントの中止で、販路をなくした福祉作業所を応援するため、福祉作業所が手掛けるこだわりの商品を広報誌スパイラル7月号で企画しました。



●コープもりやま店での地元物産展(8/22～23)

外出自粛の影響で売上げが低迷する地元商店を支援するため、コープもりやま店では守山市を通じて地元商店の商品を企画しました。





生協の役割は、組合員の「くらしを良くする」こと。
事業を通して組合員の想いや願いを実現できるよう、組合員の声に耳を傾けています。
生協の商品やサービスの一つひとつが組合員の声から生まれ改善されています。

宅配事業

安全・安心の商品を便利にお届けします。

宅配は県下9か所の宅配事業センターから、毎週約11万ヵ所に安全・安心の商品をお届けしています。子育て世帯、高齢者、お勤めで忙しい組合員のくらしを様々な商品やサービスで応援しています。コープしがでは、決まった担当者が、毎週決まった曜日・時間に、組合員に商品をお届けするとともに、単に商品をお届けするだけでないお役立ちができると考えています。

●2020年度新規加入人数（宅配）：12,253人



店舗事業

新鮮な商品と品揃えの良さにこだわっています。

コープしがのお店は、「おいしさ」「楽しさ」「あったかさ」をコンセプトに、組合員の声に応え、毎日のくらしと食を応援しています。ぜぜ店・もりやま店・かたた店に加え、2021年3月に4店舗目となるながはま店がオープンしました。

●2020年度新規加入人数（店舗）：5,064人



夕食サポート事業

笑顔の食卓をサポートします。

夕食宅配「つながり」は、高齢者、一人暮らし、共働き、育児などで毎日の夕食づくりに困っておられる方に栄養バランスを考えた“おいしい”夕食弁当をお届けし、楽しく健康的な食生活を応援しています。



利用者の声

大変お世話になり毎回お弁当美味しく頂いております。感謝の気持ちでいっぱいです。配達員さんの「元気でくれたかー」の声に勇気づけられ、私も頑張ります。これからもよろしくお願いします。



共済事業

組合員のくらしの安心を広げるCO・OP共済

「自分の掛け金が誰かの役に立つ」という組合員どうしの助け合いです。手頃な掛け金でしっかりと組合員の家族みんなの保障となるよう、CO・OP共済は組合員の声で充実していきます。

お誕生日には「おかわりございませんか」の手紙を届けて、「請求忘れゼロ」を目指しています。

●契約件数：109,312件（2021年3月現在）



コープぜぜ店 共済カウンター

ありがとうの声

職員さんにすすめてもらい入りました。病気でたおれて半年ほど入院いたしました。本当に共済に入っており助かりました。あの時、すすめてもらわなければ加入していなかったので、良かったです。

エネルギー事業（コープでんき）

コープでんきでは、みなさんのライフスタイルや思いに合わせて、3つのメニューをご用意しています。

「ゼロでんき」「ベーシックでんき」「バリューでんき」

地球環境にやさしい、家計にやさしい、「でんき」の利用をすすめています。停電トラブル時の「駆けつけサービス」も好評です。「住宅用太陽光発電の余剰電力の買い取り」も行っています。

●契約件数：11,640件（2021年3月現在）



介護事業

コープしがは、福祉を「一人ひとりの人が社会的つながりの中で、その人らしさをもって幸せに生きること」ととらえ、組合員、地域の方々とともに「くらしを創造する福祉」をめざしています。

■ケアサポートセンターぼこ野洲 （訪問介護・居宅介護支援・介護保険外サービス）

- その人らしいくらしを護る訪問介護
- 住み慣れた地域で、生き生きとしたくらしを支える居宅介護支援



コープしがでは、コロナ禍でさらに組合員のみなさまへのくらしのお役立ちができると信じて、1人でも多くの人にコープしがを知っていただけるようテレビ・ラジオCMやラッピングバスの運行を開始しました。



コープしがのCSR

理 念

ともにつくる  あふれる未来

私たちは、暮らしへの想いや願いを出し合い、共感し合い、
ともに考える、そのような人と人とのつながりを大切にします。

私たちは、つながることで安心と信頼を育み、ともに歩むことで
笑顔あふれる暮らしを創造し、次代へと継承していきます。

コープしさとSDGs

SDGsのめざすものは、コープしがが理念としてめざす「ともにつくる 笑顔あふれる 未来」のゴールと同じです。

くらしの営みは、ずっと続きます。私たちが安心してくらしすることを当たり前の価値として取り組んでいる多くの事業や活動は、SDGsの17の目標と何らかの関わりがあります。

また、私たちが安心してくらすために、小さな「私にできるコト」を積み重ね、寄せ合って大きな力になるのが生協です。

コープしとは、人が大切にされ誰もが安心して笑顔でくらす社会をめざして、組合員、役職員、地域の人々と力を合わせていきます。



働きがいのある職場づくり

私たちは、組合員のくらしづくりに貢献する使命をもっています。各々に与えられた役割や職責を全うしていくために、コープしが職員像をもとに「コープしが職員人財育成方針」を定めています。

コープしが職員像 コープしはの職員は一人ひとりが自立し集団の力で前進します

三つの心得

1. さわやかな笑顔で元気に挨拶します
2. 約束や職場のルールは必ず守ります
3. 誰にでも正直、親切、丁寧、素直に接します

行動綱領五箇条

1. 人の痛みがわかる心を持ち、地域社会に奉仕します
2. 常にコスト意識を持ち、ムダ・ムラ・ムリをなくします
3. いかなる仕事も情熱をもって最後までやり遂げます
4. 豊富な知識を身につけるため、努力を惜しみません
5. 健全な精神、健康な身体を維持します

内部統制基本方針に基づく運営

【コンプライアンス】

「コープしがで働く私たち一人ひとりが、法令及び規則、ルール、社会的規範を守り、すべての利害関係者、とりわけ組合員のくらしに役立つために行動し、その使命を果たすために全力を尽くす」ことを誓い、コンプライアンス基本方針・自主行動基準を定めています。実践に向けて毎年全職員が学習を行い、セルフチェックで達成状況の確認を行っています。

【リスクマネジメント】

コープしはの全業務に係わるリスクを洗い出し、個々に分析・評価を行い、リスク管理表を作成し発生防止に努めています。全職員にリスク教育を行い、発生防止対策や発生時と収束後の対応をルール化し徹底しています。

【個人情報保護】

個人情報保護法にもとづき組合員データを適切に管理しています。個人情報は規定やルールを明確にし、適正に取得・利用・管理・廃棄の手順を定め、職員教育を徹底しています。取引先や委託業者には覚書を交わし、安全管理の義務付けと定期的な点検を行っています。

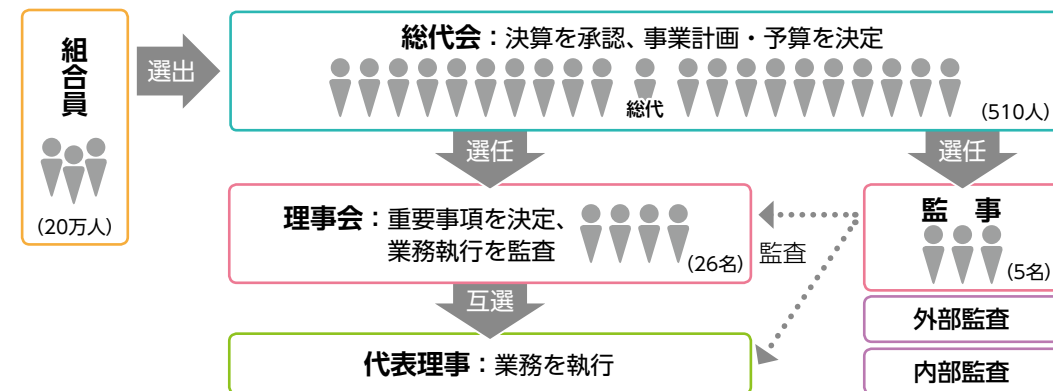
【危機管理】

重大なリスクが発生した場合、速やかに対応するため危機管理規定や危機対応マニュアルを定め、訓練等を行っています。地震や台風など大規模災害の対策は、震災対策マニュアルやBCP（事業継続計画）を整備し、組合員や地域への事業者責任を果たす準備や対策を講じています。

生協とは

生協は「生活協同組合」の略で、数ある「協同組合」のひとつです。消費者一人ひとりがお金（出資金）を出し合い組合員となり、協同で運営・利用します。「よりよき生活と平和」をめざし、「よりよいものをより安く」「健康で豊かなくらし」という願いを実現するためにつくった自発的な「協同」「助けあい」の組織です。

コーポレートガバナンス



機関運営

コープしはの機関は、組合員の代表である総代が方針や事業計画などを決定する**総代会**、総代会で選任された**理事会**と組合を統轄し業務執行する**代表理事**、その決定や業務執行を監視する**監事**で運営を行っています。

理事会

理事会は毎月開催し、総代会で承認された方針の意思決定と代表理事や常勤理事会の日常業務の執行状況を確認しています。

監 査

総代会から負託を受け理事会の業務執行を監査する「監事監査」、会計監査法人による「外部監査」、内部監査担当による「内部監査」の三様監査でチェックしています。

総代会



生協の最高意思決定機関です。組合員の代表である「総代」が参加し、「昨年度の取り組みが、組合員の意思に沿って行われたか」「今年度の取り組みが組合員のくらしに貢献できるか」を判断し議決します。また、定款・規約の改定、役員の選出も総代会で行います。組合員が運営し、議決権を持つのも組合員である「総代」だけです。



2020年度の機関運営

新型コロナウイルス感染拡大により、機関会議は開催時間の短縮や、少人数での開催、オンライン開催など感染予防対策を講じながら開催しました。

会場数を大幅に増やし、くらしのことや総代会議案について総代の意見を丁寧に聞き取りました。

2019 年度	議案検討会議	13 会場
2020 年度	議案検討会議	中止
2021 年度	議案検討会議	49 会場 (オンライン含む)

オンラインで参加された総代の声（アンケートより）

初めてオンラインでの参加でしたが、資料も分かりやすく画面上に出していただいたり、話をされている方をアップにして下さったり、とてもわかりやすかったです。オンラインでの参加であれば、自分の地域外の方とも交流できて新鮮で良かったです。



たべることは生きること。私たちにとって食べものはとても大切なもの。
食べものはすべて生きものであり、その命をもらって私たちは生きています。
私たちは感謝する心を大切にしていきます。

たべる たいせつ



今年は新型コロナウイルスの感染拡大により通常の企画はできませんでしたが、オンラインやステイホームでの企画を開催しました。

つながる商品交流会 (2021/2/13)

毎年、生産者をお呼びして開催していた「商品大交流会」ですが、今年は新型コロナウイルス感染拡大を考慮して、オンライン（Youtube配信）で開催しました。
「つながる商品交流会」は、商品を真ん中に“たべる人・つくる人・つなぐ人”みんなが笑顔になる楽しい交流会となりました。



生産者のオンライン参加の様子



会場の様子

商品知ってね「おためし60」

コープ60周年おすすめの商品の中から選りすぐりの商品を家族で試食し学ぶ「おためし60」は、多くの利用がありたくさんの声が寄せられました。



アンケートに
回答すると60%を
キャッシュバック

組合員の声

気になりながらもあと一步チャレンジできないでいる商品が多いので、こういう後押しは嬉しいですね！

ステイホーム企画「おうちでたべる＊たいせつ親子クラブ」

家で親子ができる楽しい学習キットを使い、調理したり食べ物の旬や栄養のことを学びました。「秋のたべもの編」と「冬のたべもの編」には多くの申し込みがあり大人気でした。



参加されたお子さんのアンケート



家での調理の様子



滋賀県立大学「食育推進隊」との協働の取り組み

滋賀県立大学 人間文化学部 生活栄養学科の食育推進隊の学生考案の、若い世代の食生活を考えたレシピ「国産ブロッコリーを使ったお好み焼きと炊き込みご飯」を商品案内書コープしがマルシェで紹介しました。この取り組みは3年目となります。



食育推進隊のみなさん



ブロッコリーを使ったレシピの試作品

株式会社みんなの牧場（鳥取県）

日本の酪農が衰退の一途をたどる中、私たちの食を支える産直産地の牛乳や牛肉の生産を維持するために、生産者・行政・生協などが共に作った牧場です。

乳質の良い生乳が、当初の計画を大幅に超える量で生産できており「生協牛乳120」として組合員にお届けしています。

また、「お手頃価格で和牛を組合員に届ける取り組み」が3月から始まりました。最初にお肉をお届けできるのは、2022年5～6月ごろになります。



食の安全・安心について知り学ぶ活動

①「ゲノム編集食品学習会」(9/26)

ゲノム編集食品ってそもそも何？という疑問に、大阪府立大学の専門講師による分かりやすい解説で、ゲノム編集の技術や食品の安全性などについて学びました。

②「日本の食料自給率課題を考える学習会」(12/12)

日本の食料自給率の現状と到達について、大学の専門講師により「わたしたちのくらしにとって身近な問題」として知り学び、消費者としてできることを考える場となりました。





ふつうに生活できている今に感謝し、何気ない毎日を大切に。私たちはくらしの願いの実現に向けて、「私にできるコト」をすすめます。

くらしたいせつ

震災を忘れない交流会2021 (オンライン企画) (2021/2/27)

東日本大震災から10年を迎え、福島や宮城の復興状況や、今の様子について被災地の生協や生産者と交流しました。

参加者の声

コロナ禍において、リモートを使って、交流会ができたことはとても良かったと思います。便利な道具はたくさんありますが、やはり、そこに人がいて、心があってこそその交流会なのだと思います。10年という節目ですが、この先もずっと忘れず想いをつないでいきたいと思っています。



交流会の様子



2018年に福島県から寄贈いただいた夜の森の桜

「姫花ちゃんハンカチ」が紡ぐ輪

東日本大震災の津波で犠牲になった福島県の姫花ちゃんが描いた絵で制作したハンカチをコープしが3月に斡旋しました。全収益金は災害遺児義援金として寄付されています。



姫花ちゃんハンカチ

お家でチャレンジ！

夏休みと冬休みに、自宅で家族でできる取り組み「楽しくおうちのお手伝いにチャレンジ」「家の中にあるマークを探そう！」が北地区から全地区の取り組みへと広がりました。



参加者のお手伝いの様子



お手伝いBINGOカード

みんなで取り組んだ募金など

ユニセフ一般募金(内、1,000,000円をミャンマー指定募金に寄付しました)	3,991,993円
ユニセフ新型コロナウイルス緊急募金	3,107,350円
ハンガーフリーワールド(書き損じハガキ回収キャンペーン)	5,454,764円
7月熊本豪雨災害支援募金	7,815,016円
東日本大震災復興支援募金(くらし・地域復興応援募金)	2,354,707円



ユニセフからの感謝状

組合員による商品の利用を通じた応援募金

米登録商品利用による「滋養応援寄付」(1kg当たり1円)	300,274円
珊瑚再生もずく基金(1点当たり1円)※	107,443円

※「恩納村もずく」利用1点につき1円を積み立て、珊瑚保全に取り組む沖縄恩納村漁協を支援する取り組み

●全国の生協とともに取り組む募金・コープしが

CO・OPレッドカップキャンペーン(1点当たり1円)	360,764円
CO・OPコアノンスマイルスクールプロジェクト(1パック1円)	72,643円
CO・OP洗剤環境寄付キャンペーンWWFジャパン(1点当たり0.5円)	26,081円
CO・OP化粧品ピンクリボン運動(1点当たり1円)	16,492円



豪雨で甚大な被害が出た熊本県の被災者へ生協くまもとを通じて、冬物衣料品(約800点)をお届けしました。

お店でのお買い物をサポートするしくみ

・お買い物のサポートカー(登録者数 184人)
食料品などのお買い物が不便な方を対象に、自動車でお店まで無料送迎するサービス。コープぜぜ店とコープかたた店で実施しています。



送迎サービス

・お買い物代行：電話でご注文された商品を、ご自宅にお届けするサービス
・お買い上げ配達：お店でお買い物された商品を、その日の夕方までにお届けするサービス(登録者数 352人)



お買い物代行

手作りマスクの設置

コープしが全店のサービスカウンターで、組合員さんの手作りマスクを無料でお配りしました。生協らしい組合員さんどうしの助け合いの取り組みとなりました。

職員の声

組合員さんの手作りマスクを各店舗において、必要な方にお持ち帰りいただいています。コープぜぜでは毎日すごい人気で、補充してもあっという間になくなります。中には募金してくださる組合員さんもおられると聞きました。コロナウイルスの影響で不安な日々を送る中、手づくりして提供してくださる方とそれを受け取る方とのあたたかい交流はほんとにささげられます。





「ふだんのくらしのしあわせ」を実感したい。
私たちは、人々のささえあい・助け合いの活動
をすすめ、みんなが幸せになることを目指
します。

ちいき たいせつ



滋賀県との包括的連携協定締結 (2021/3/18)

滋賀県とコープしがが包括的連携協定を締結しました。防災や災害などの地域の課題、女性や子ども、高齢者など人に関する支援、環境保全や地域振興など、様々な県民のくらしに関わる施策や活動を連携して取り組むことで、地域の一層の活性化および県民サービスの向上等を図ります。



締結の様子



包括的連携協定書

できるコトづくり制度の 助成と支援

2018年に創設された「できるコトづくり制度」は、「想いや願い」を持った団体が新たな一歩を踏み出すための「学びの場（できるコトづくり講座）」の提供と、その「想いや願い」を実現させるために必要な「資金助成（できるコトづくり助成）」からなっています。2020年度は「はじめて助成」9団体、「活動助成」5団体に助成をおこないました。

※2019年度からの継続申請含む



2020年度「はじめて助成」の助成団体「楽楽ひろば」の皆さん

楽楽ひろばは、高齢化や人口減少による過疎化がすすむ東近江市永源寺の永源寺図書館で赤ちゃんからお年寄りまで誰もが気軽に集える居場所づくりをしています。新型コロナウイルスの影響により集まるのは控え、LINEでのライブ配信を企画されました。

LINEでのライブ配信の様子
東近江市で活動する音楽ユニット「わ音」

組合員どうしの助け合い「ささえあいサポート」

ささえあいサポートは組合員どうしの助け合い活動です。お手伝いするのは、組合員と家族のみなさんです。地域ごとに組合員で構成するコーディネーター会が依頼受付からサポーター手配など、運営の全てを担っています。

●2020年度ささえあいサポート利用件数：1,930件



南地区コーディネーター会のみなさん

ご利用者の声（植木の剪定のサポート）

植木の剪定を40年間主人が手入れしておりましたが、手術をして体力が衰えてお世話になりました。事前の説明もていねいで、当日の作業もていねいで、誠実にお仕事をしていただきました。できれば、これからもお世話になりたいと思いました。

子育ての見守り

2つの自治体から業務委託を受けて、1歳未満の子どもがいるご家庭に、毎月おむつなどを届けています。子育て経験のある専任スタッフが、子どもやお母さんの健康状態の確認・悩みごとの相談など、孤独になりがちな子育て中のお母さんを支援しています。
※甲良町「見守りおむつお届け便」／東近江市「見守りおむつ宅配便」



東近江市おむつ宅配便利用者の声（2020年度アンケートより）

毎回明るく届けて頂いているので嬉しいです。おむつなどの負担も軽減されて、本当に助かります。素敵な子育て支援事業を利用でき、東近江市に住んでいて良かったなぁと強く感じました。

事業活動を生かした見守り活動

宅配や夕食サポート弁当の配達は、滋賀県全域をカバーしています。コープしがだからこそできる地域貢献として、自治体との見守り協定をすすめています。

米原市	絆で築く安心なまちづくりに関する協定
草津市	「安心」が得られるまちづくりに関する協定
長浜市	長浜市・地域の安心見守り活動に関する協定
高島市	見守りネットワーク事業に関する協定
近江八幡市	近江八幡市高齢者安心見守り活動に関する協定
彦根市	彦根市高齢者安心・安全ネットワーク活動に関する協定
愛荘町	地域の見守りネットワークに関する協定
甲良町	甲良町「安心」が得られるまちづくりに関する協定
多賀町	地域の見守りネットワークに関する協定
野洲市	野洲市見守りネットワーク協定
大津市	大津市高齢者等地域見守りネットワーク事業に関する協定
滋賀県	高齢者に向けた消費者被害防止のための啓発に関する協定

行政との見守り協定

認知症サポーター講習

高齢化がすすむ組合員のくらしを見守るため、認知症の正しい知識を持ち、認知症の本人・家族の気持ちを理解できることを目的に、実施しています。全職員がサポーターになれるよう受講をすすめています。



こども110番の車

コープしがの宅配トラックは、子ども110番の車です。地域のお子さまの見守り活動も行っています。



飛び出し注意看板の配布

配送車両が見通しの悪い細い道から飛び出てきた子どもさんと衝突し、けがを負わせたという重大事故を機に、再発防止策の一つとして「飛び出し注意」看板を組合員さんを通して地域に配布しています。

●2020年度の配布枚数：1,789枚
(2020年度はお申し込みいただいた組合員さん全ての方にお届けしました)





私たちは、平和な社会の実現をめざして、命の尊
さを考え、お互いの人権を守り安心できるくらし
づくりを進める場を広げていきます。

いのち たいせつ



平和のとりくみ「ミャンマーで見た 子どもたちの笑顔」(2021/2/6)

JICA国際協力推進員、青年海外協力隊員のお二人を講師
にお迎えし、JICAの取り組みについて、またミャンマーで
活動されてきたこと、特に関わった子どもたちの様子やその
国の情勢などのお話がありました。当日はライブビューイン
グを設置し、オンラインでは各ご自宅から30名の参加があ
りました。

参加者の声

日本にいると普通の生活を送れることが当たり前と
思ってしまうがちですが、世界には苦しんでいる人、
助けを求めている人たちがたくさんいることを常に頭
において、世界中の人たちが幸せにくらせるよう、自
分が取り組める活動をしていきたいと思います。



オンライン配信の様子

「はじまるばこ」の取り組み

コープしがでは、滋賀県にお住まいの、1歳未満の赤ちゃん
のおられるご家庭を対象に、便利な育児サポート商品の詰
め合わせ「はじまるばこ」を無料でプレゼントしています。



ピースアクションinヒロシマ・ナガサキ ～オンラインこども平和会議～ (8/8)

2020年8月8日、広島県生協連・長崎県生協連と日本生協連
の共催で「2020ピースアクション inヒロシマ・ナガサキ ～オ
ンラインこども平和会議～」を開催しました。今年は新型コロナ
ウィルスの感染防止のため、オンラインを活用した形式で開催さ
れ、「戦争や核兵器の使用など、争いごとをなくすため私たちに
できること」をテーマに話し合いました。滋賀県を代表して「オ
ンラインこども平和会議」に甲賀市の小学生お二人が参加され、
参加インタビューは「東地区平和のつどい」にて放映しました。



参加されたお二人

参加された小学生の感想

オンラインで同じグループだった長崎の人は、今でも原爆の日には学校に集まって祈っていることなど聞いてびっくり
しました。オンラインでの参加は初めてで緊張しましたが大学生や高校生の方がうまくすすめてくれて良かったです。

核兵器廃絶をめざして

●ヒバクシャ国際署名の取り組み

核兵器廃絶を願う被爆者の願いに日本や世界の人々とつながり
国連に届ける活動で、コープしがでは2017年から取り組みを行い
56,442筆の想いが集まりました。生協も含め全国で12,612,798
人が署名しました。参加組合員からは、「署名を通して少しでも平
和な世の中になってほしい」などと声が寄せられました。

ヒバクシャ国際署名は2020年に、平和団体IPB（国際平和ビュー
ロー）からショーン・マクブライド平和賞を受賞しました。



●国連「核兵器禁止条約の発効」についての理事会声明

コープしがでは平和政策に基づき、「核兵器禁止条約」の発効
を歓迎するとともに、世界でヒロシマ・ナガサキの惨事を繰り返
さないために、核兵器廃絶をめざして世界の人々とともに取り組
むことを理事会声明として発信しました。



キッチンカー健康教室



食を支えるコープしがが「地域での健康づくり」のお役立ちと
して行っている出前型の健康教室です。(無料)
赤いキッチンカーで滋賀県内の高齢者や子育てのサロン・サー
クルなどに伺って、クイズを交えながら健康のお話やレシピを紹介
しています。

新型コロナウイルスの感染拡大により一時休止してしま
いましたが、7月より「試食のない健康教室」を再開し、11月からは「子
育てサロン向けのプログラム」も開始しました。
2020年度開催回数：40回



健康教室の様子



滋賀県の約6分の1を占めるびわ湖。周囲の緑豊かな山々や田園風景は、私たちのくらしにやすらぎを与えてくれます。私たちはふれあう体験の場を通じてびわ湖や自然を大切にすることを育んでいきます。

びわこ たいせつ



びわ湖清掃ウォーク 2020 (8/1~9/30)

コープしがでは毎年コープしがの「びわ湖の日」※に「びわ湖清掃ウォーク」を開催、約500人でびわ湖岸の清掃活動を行っています。今年は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、琵琶湖畔を清掃する活動から、だれでも身近な家族やお友だちとびわ湖を大切にする活動として取り組みました。

※コープしがでは、毎年9月の第一土曜日をコープしがの「びわ湖の日」と定めています。

参加者の声

キラキラ光る湖の側に落ちているごみを見てなんだか悲しくなりました。空のペットボトル、ビニール袋、お菓子の袋などゴミ拾いをしました。私たちにたくさんの恵みを与えるびわ湖をもっと大切にしたいと思いました。



清掃活動の様子

清掃活動だけでなく、びわ湖を通して環境について考える様々なことに組合員が取り組みました。



マイクロプラスチックを発生させないコットンたわし



廃油で作ったキャンドル

五感を使って見つけよう 森の不思議 (11/8)

家族で、ネイチャーゲームを通して森が生きていることを実感し、森がびわ湖におよぼす影響について学びました。私たちのくらしとのかかわりについて知り、びわ湖や自然を大切にしたいという心を育む機会となりました。

参加されたお子さんの声

今日、いろいろなこと、びわこのしくみもわかったし、しぜんもがんばっているんだなあっておもしろい。



参加者の様子

全国植樹祭プレイベント 「コープの森余呉植樹イベント」(11/19)

2022年全国植樹祭に向けて、植樹と木の工作などを通じ、びわ湖につながる森林保全の大切さを学ぶ機会となりました。



植樹作業



工作体験

コープの森あぶらひ 森林整備ボランティア (11/8)

今年のコープの森あぶらひの森林整備ボランティアは、前日の雨で木が滑りいつもの枝打ちロボットが使用できない状況でしたので、急遽、予定していた枝打ち作業から去年枝打ちした木に獣害防止のテープ巻きを施工する作業に変更して実施しました。



鹿よけのテープが巻かれた木

CO₂削減ライトダウンキャンペーン (6/21~7/7)

自宅で家族みんなが日常のちょっとした工夫でCO₂の削減に取り組む地域環境にやさしいエコライフキャンペーンを夏と冬に取り組みました。

参加者の声

1か所の電気。たった1つでも大切にできることで（節電を心がけることで）少しでも未来が変わるなら、子ども達のためにも心がけたいなと思いました。



コープもりやま店ライトダウンの様子

(株)ハートコープしが「農福連携による 食品リサイクルの取り組み」

(株)ハートコープしがは、農福連携による雇用の創出と循環型社会の実現をめざして2018年11月、コープしがの子会社として設立しました。現在、10名の障がいのある方と一緒に、コープのお店や青果加工センターから出る野菜のくずでたい肥を作り、そのたい肥などを使って小松菜、ほうれん草などの栽培・出荷や、宅配用のドライケースや保冷剤の洗浄を行っています。



小松菜栽培の様子



ドライケース洗浄の様子

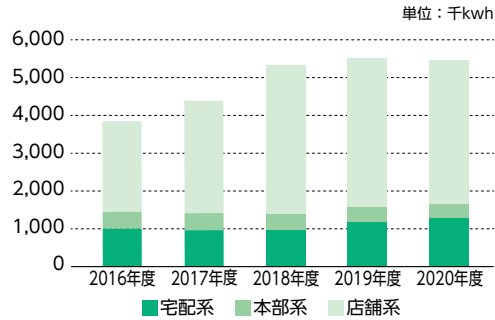
事業における環境報告

コープしがは「環境政策」に基づき、事業と活動の両面で地球温暖化防止や自然環境の保全、廃棄物の削減などの取り組みをすすめています。「環境マネジメントのシステム」を独自運用して環境管理に取り組んでいます。

● エネルギーの効率的な使用とCO₂排出量の削減

[エネルギーの効率的な使用]

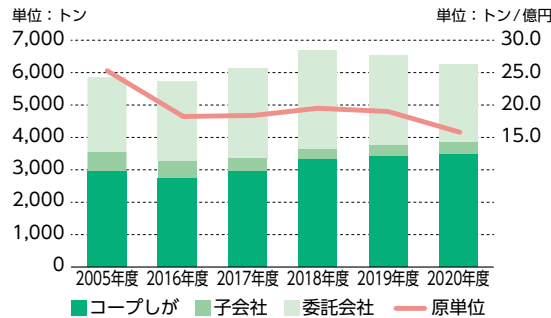
■ 電気使用量



2020年度の電気使用量の目標は、コープしがが全体で前年度維持を目標に取り組みました。宅配センターの一部でフードドライブの推進のため冷凍庫を稼働させたことなどで使用料は増加しました。全体では前年度比100.2%となりました。

[CO₂排出量の削減の取り組み]

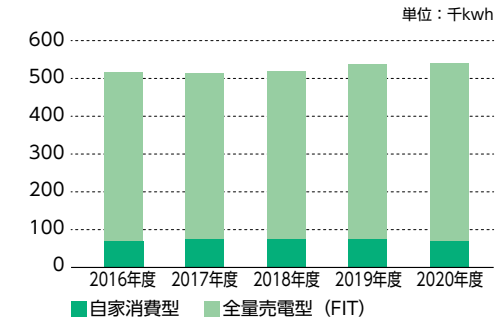
■ CO₂排出量 (組織別)



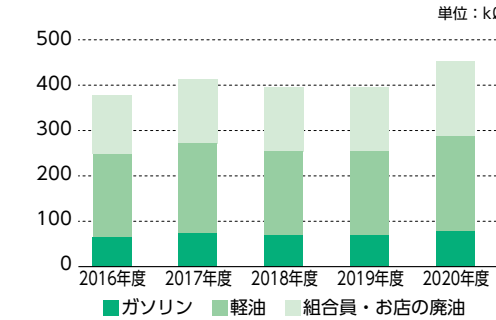
全体としては前年比98.3%と減少しました。コープしが(宅配)は、2019年3月に委託コースからの移行によるコース増加などで前年比113.0%となっています。供給高1億円当たりのCO₂排出量は16.1トンとなり、前年比84.6%となりました。

[再生可能エネルギーへの取り組み]

■ 太陽光発電発電量



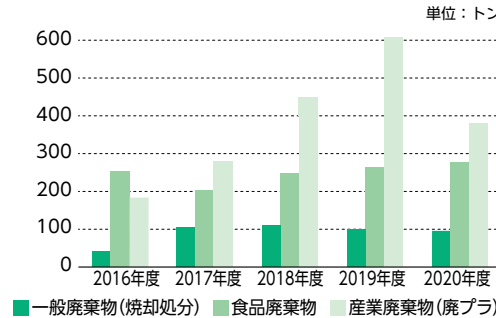
■ 車両燃料使用量



車両燃料は、ガソリンと軽油の燃費を前年度維持として取り組みましたが配送個所の増加と物量の増加により、前年比95.1%となりました。BDF燃料を5%配合した「BDF5」の使用は117%になりました。

[事業活動による廃棄物の削減]

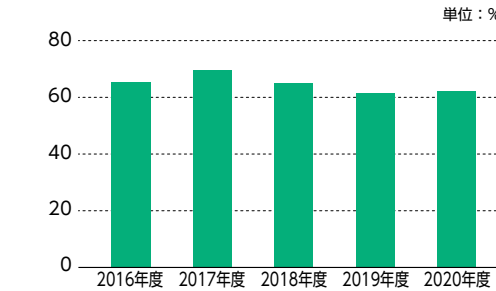
■ 廃棄物排出量



廃棄物は事業系の一般廃棄物は減少したものの店舗事業、青果加工センターからの食品廃棄物の増加により全体で増加しました。2019年度から稼働したハートコープしがの子会社による発泡スチロールのリサイクル活動が再開し、店舗の廃プラは大きく削減できました。

[グリーン購入の取り組み]

■ グリーン購入率 (事務用品)



環境に配慮した商品の普及実績

エコマーク認証 供給高:255,317,061円(118.6%) 供給点数:798,473点(130.9%)	FSC 供給高:859,622,602円(173.0%) 供給点数:1,593,177点(165.9%)	MSC 供給高:79,513,026円(68.7%) 供給点数:231,822点(72.5%)	ASC 供給高:1,063,370円(43.4%) 供給点数:2,165点(40.8%)
MEL 供給高:26,367,798円(104.6%) 供給点数:57,341点(100.4%)	オーガニック 供給高:61,013,744円(119.5%) 供給点数:181,819点(130.1%)	特別栽培 供給高:69,997,766円(93.9%) 供給点数:246,232点(79.7%)	レインフォレスト 供給高:96,251,688円(122.6%) 供給点数:350,296点(122.9%)
CFP 供給高:166,608,716円(105.2%) 供給点数:265,906点(101.4%)	洗剤環境寄付 キャンペーン 供給高:37,866,731円(114.0%) 供給点数:52,162点(93.7%)	RSPO 供給高:25,864,111円(123.0%) 供給点数:41,093点(104.2%)	スラウェシ島 エビ養殖改善協力金 供給高:80,701,462円(121.8%) 供給点数:98,584点(111.9%)

()は前年比

♥ 循環型社会をめざして

*牛乳パックは、ただいまロール・おかえりティッシュに、たまごパックとペットボトルは、たまごパックにリサイクルされます。

リサイクル回収実績

(2020年4月～ 2021年3月)

●2020年度リサイクル売却実績

49,623,732円

()は前年比

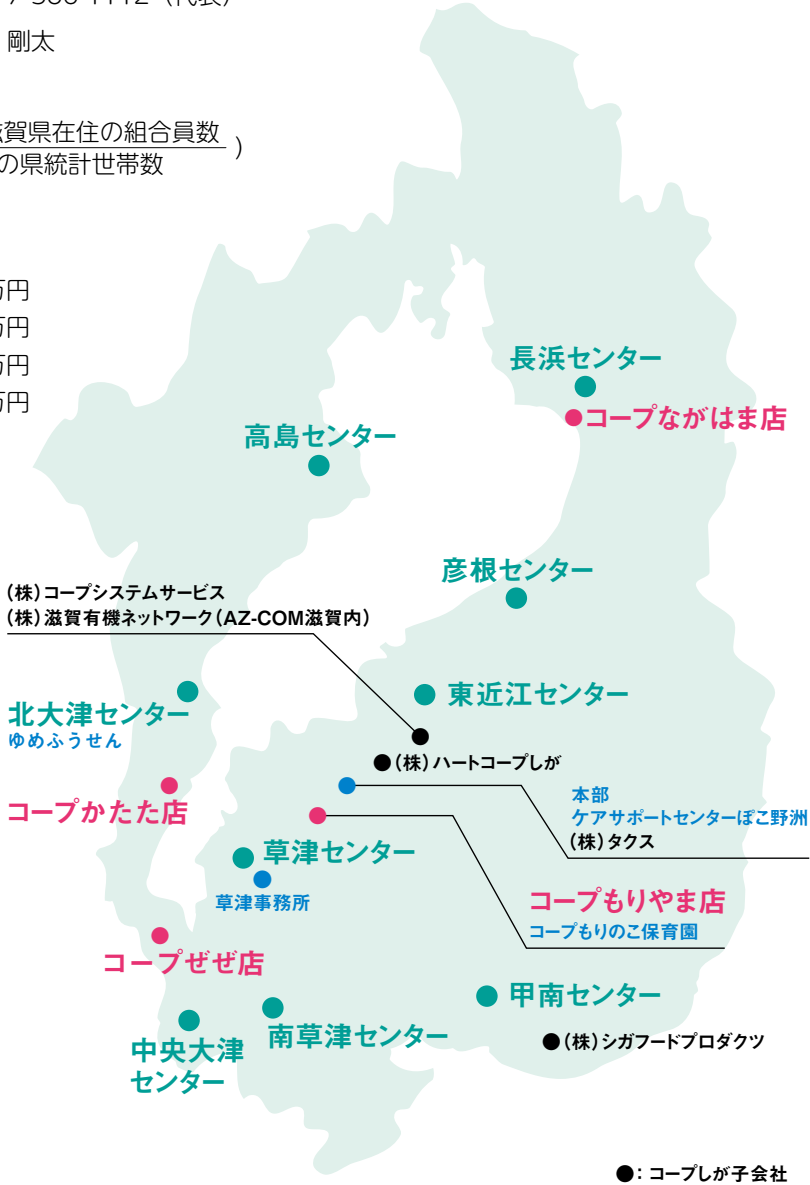
宅配回収物			
牛乳パック 年度累計 64,258kg (106.8%)	たまごパック 年度累計 21,457kg (93.0%)	宅配商品案内書 年度累計 3,281,580kg (99.2%) 回収率 80.9% (前年 -2.8%)	商品仕分け袋 年度累計 35,033kg (101.0%) 回収率 28.7% (前年 -3.1%)
店舗回収物			
ペットボトル 年度累計 22,252kg (110.9%)	ペットボトルキャップ 年度累計 1,579kg (113.5%)	トレー 年度累計 4,714kg (111.5%)	牛乳パック 年度累計 10,258kg (112.0%)

コープしがの概要

(2021年3月20日現在)

名 称 生活協同組合コープしが
設 立 1993年3月21日
滋賀県内4生協が合併して発足。(大津生協・湖南生協・東部生協・北部生協)
本 部 滋賀県野洲市富波甲972番地 TEL 077-586-1112 (代表)
代表理事 (理事長) 白石 一夫、(専務理事) 高橋 剛太
組合員数 20万8,854人
加 入 率 36.0% (= $\frac{2021年3月20日現在の滋賀県在住の組合員数}{2021年3月1日現在の県統計世帯数}$)
出 資 金 123億7,622万円
供 給 高 399億6,121万円
(内訳) 宅配事業 321億2,893万円
店舗事業 62億0,298万円
夕食宅配 3億8,325万円
エネルギー事業 12億4,605万円

職 員 数 総合スタッフ 307人
エリアスタッフ 97人
シニアスタッフ 19人
嘱託スタッフ 29人
専属スタッフ 21人
定時スタッフ 947人
(フルタイム換算 322.0人)
※定時スタッフ数にアルバイト含む



「供給高」とは
生協では、組合員の日常生活に必要な物資を供給する事業であることから、「売上高」ではなく「供給高」という言葉を使用しています。

コープしがの事業所・事務所一覧

本部・事務所・その他施設
本部 野洲市富波甲972
ゆめふうせん 大津市真野5-33-25
草津事務所 草津市西草津2丁目1-1
ケアサポートセンターぽこ野洲 野洲市富波甲972
コープもりのこ保育園 守山市勝部3丁目14-27
店舗
コープぜぜ店 大津市竜が丘1-1
コープもりやま店 守山市勝部3丁目15-30
コープかたた店 大津市衣川1丁目17-1
コープながはま店 長浜市宮司町1200

宅配事業センター
南草津センター 草津市笠山5丁目3-50
北大津センター 大津市真野5-33-25
草津センター 草津市上寺町カスリ281-1
中央大津センター 大津市国分2-226-22
甲南センター 甲賀市甲南町市原303-6
東近江センター 東近江市五個荘清水鼻町153-6
長浜センター 長浜市西上坂町1020-1
彦根センター 彦根市竹ヶ鼻町224-1
高島センター 高島市新旭町新庄799

コープしがのグループ会社



株式会社シガフードプロダクツ

所 在 地 甲賀市甲南町寺庄330
事 業 内 容 食肉加工およびパック加工済み商品・畜肉加工品の販売
設立の目的 生肉の生産、流通および加工までを一元管理し、安全・安心・良質な肉を適正価格で安定供給するため



株式会社タクス

所 在 地 野洲市富波甲972
事 業 内 容 保険代理店業、不動産事業、旅行事業
設立の目的 組合員の暮らし全般をサポートするため、生協では扱えない事業分野での事業展開を図るため



株式会社コープシステムサービス

所 在 地 近江八幡市長光寺町瓶割山951-4 (AZ-COMロジスティック滋賀内)
事 業 内 容 産地パックの全量点検業務、原料加工業務、店舗輸送元請け業務、チケツト仕分け転送業務
設立の目的 流通に関する専門的なノウハウを導入し、適切な物流管理の遂行およびコープしがの物流費をコントロールするため



株式会社ハートコープしが

所 在 地 野洲市富波甲963-1
事 業 内 容 農産物の生産・加工・販売、宅配商品通い箱等の洗浄作業受託、食品循環資源等の再生利用作業受託
設立の目的 障がいのある方々の「働きたい」願いや自立の手助けの場を提供するため



株式会社滋賀有機ネットワーク

所 在 地 近江八幡市長光寺町瓶割山951-4 (AZ-COMロジスティック滋賀内)
事 業 内 容 農産物、農産加工品の販売・農業資材の販売
設立の目的 県内での産直有機農産物の産地づくりの推進と、農産物の物流拠点を確立するため



「しが生物多様性認証制度」で、
2019年度最高評価の「3つ星」の
認証を獲得しています。

コープしがへの期待とうけとめ、これからもSDGsにもとづく事業と活動を組合員のみなさんとともにすすめていきます。

▼公式HP



▼Facebook



▼Instagram



<https://www.pak2.com/>



- 用紙：責任ある木質資源を使用したFSC®認証用紙
- インキ：環境配慮型インキ（植物油インキ or ノンVOCインキ）
- 印刷：有害な廃液を排出しない水なし印刷
- 製造、廃棄に発生するCO₂を滋賀県内の排出削減事業者のクレジットによりカーボンオフセット済
- CO₂排出量：302.6g/部